ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

2023 3月号 vol. 274

communication x voluntary

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

アジアの国々のこどもたちが豊かに育つコミュニティを

一般社団法人 コミュニティ・4・チルドレン

6 第48回 産経市民の社会福祉賞 受賞
不登校のこどもたちの『0.1歩』を大学生のチカラで応援
不登校支援ボランティア学生団体 CLASS B

7 ボランティアと区民が楽しく集い 3年ぶりに『ボランティア広場』を開催
城東区社会福祉協議会

タイで毎年行う、有機米の田植え風景

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

アジアの国々のこどもたちが豊かに育つコミュニティを

一般社団法人 コミュニティ・4（フォー）・チルドレン

さまざまなテクノロジーの発展・高度化により、世界のグローバル化が急速に進んだ近年。大きな経済効果が国を超えて生まれる一方で、世界各地の地域経済は低迷し、格差による生活困窮や地域でのつながりの低下などの課題も浮き彫りになっています。とりわけ、こどもたちを取り巻く環境は厳しく、こどもの権利が守られていない地域も少なくありません。

今回は、こどもたちの健全な成長を阻むさまざまな課題に着目。アジアの国々で現地のNPO・NGO団体と協働し、課題解決に向けた支援に取り組んでいる団体をご紹介します。

フィリピンで、障がいのあるこどもたちの自立を支援

『コミュニティ・4・チルドレン』は、こどもたちのための4つのアクション（行動）と4つのミッション（使命）※1を掲げ、現地団体と協働しながら、こどもが豊かに育つコミュニティづくりを支援している団体です。

代表理事の桒原英文（くわはらひでふみ）さん（以下、桒原さん）が、現在の活動に取り組むことになったきっかけは、NGO職員として滞在した東南アジア各国で、経済的貧困層の

現状を目の当たりにしたことでした。

「田舎から都会に出て来ても、収入を十分に得られずスラム街に集まる人たちを見て、ここに来なくていいように、田舎が少しでも豊かになることが大事だと感じたんです。」

そんな栄原さんが農業支援とともに10年以上前から取り組んでいるのが、フィリピン・バギオ市周辺での、障がいのあるこどもたちの自立支援です。

海抜1500メートルの高地にあり、町を中心に山々の中に集落が点在するこの地域は、交通が不便なうえ、急な勾配のため車イスも使えません。多くの障がいのある人は家に留まらざるを得ず、就学や就労の機会も失われています。

栄原さんは、福祉・特別支援教育の専門スタッフで構成された現地団体と連携し、フィリピン障がい者連合がバギオ市内に開いた無料リハビリテーションセンターで、就学支援や保護者活動の支援に取り組みました。さらに青年層を対象に、共同生活を行う自立生活プログラムも開始。少しずつ時間をかけて、市内から車で数時間かかる山岳部の地域まで、地域でリハビリテーションを行える環境を整備していきました。

一人ひとりに寄り添った療法でリハビリテーションを

家庭や地域での自立した暮らしを目標に共同生活

さらに運営財源を確保するため、障がいのある人たちが中心となり、さまざまな募金活動も実施。地域の祭りでは住人たちがチャリティコーナーを設置するなど、当事者の人たちが地域に溶け込み、自立した暮らしを営むためのまちづくりが始まっています。

※1 4つのアクション：Motivate,Care,Create,Cultivate
4つのミッション：Empowerment,Facilitate,Stimulate,Development

地域でこどもたちを支え見守るコミュニティづくり

栄原さんがフィリピンで活動を進めている頃、同法人の副代表理事である加藤眞理子（まりこ）さん（以下、加藤（かとう）さん）は、タイのノーンメック村で活動をしていました。

首都バンコクから約470キロ離れたノーンメック村は、しばしば干ばつに見舞われる地域です。農業だけでは生活が出来ず、多くの村人は出稼ぎに依存。村人同士の絆も弱くなり、こどもたちには安心して過ごせる居場所がありませんでした。

月に一度、農場で開催しているマーケット

「この村を何度も訪れているうちに、自分に何かできることはないだろうか、と考えるようになりました。現在は、村議会の人たちと『こどもを支える基盤づくりは、コミュニティの絆の強化から』という思いを共有しながら活動しています」と、加藤さん。

出稼ぎに頼らず地域で暮らしていける経済力を身につけようと、最初に取り組んだのは、村の伝統的な『結』（※2）の文化を復活して有機農業を行うこと。無償で借りた共同農場の土地を堆肥などで改良し、安全・高価値な米や農産物づくりを始めました。

「最初は「化学肥料を使わずに米が育つのか」と疑いを持つ人が多く、村にある約100世帯のうち2～3世帯で始めました。そして10年以上が経ち、自分

牛銀行で得た収益でこどもたちに奨学金を贈呈

たちで市場を開くまでになりました。高値でもわざわざ買いに来てくれるお客さんができたことなどで有機農業への意欲が高まり、現在は20世帯以上の村人が参加しています。」

また、村の中で母牛を交代で飼育し、生まれた子牛を売却した利益を、飼育者の収入と、村のこどもたちの奨学金に充てる『牛銀行』のシステムも軌道に乗りました。畜産や村の資源を通じて、地域で子どもの成長を支えるという仕組みが生まれたことで、村人たちの絆もさらに深まりました。

※2 主に小さな集落などで、地域住民同士が労働力を対等に交換し合い、農作業や家屋の修繕などの共同作業や相互扶助を行うこと。

『学ぶ』場と機会を創り こどもの未来を育む

ベトナムとの国境に接するカンボジア・プレックチュレイ村は、雨季には冠水で交通が遮断され、孤立してしまう地域です。教育支援も届きにくく、公立小学校の授業は毎日およそ3時間のみ。親も子に対して、勉強より農業などの手伝いを優先させることが日常でした。

栗原さんたちは、この村でこどもたちが自主運営する『こども会』の活動を中心に、こどもたちが地域の課題に取り組むサポートを地元団体とともに行っています。

「これまで、こどもたちのアイデアで、同じ地域に住むベトナムのこどもとのサッカー大会や、感染病の予防啓発パレード、プラスチックのごみ拾いなどを行ってきました。大きなこどもが未就学の子たちに簡単な勉強を教えながら、学校に行くことの大切さを伝えたり、こどもたちが成長するにつれ地域の一員となり主体化していく様子をリアルに感じています」と、栗原さん。

活動を始めておよそ10年が経ち、プレックチュレイ村ではほとんどのこどもが中学校にも通うようになり、遠く離れた高校や夜間大学に進学するこども も増えてきました。

さらに栗原さんたちは現在、チュロイスナオ村という小学校しかない小さな村に、コミュニティ図書館※3を建設するプロジェクトを実施中。建設費サポーターを広く募集しながら、新たなコミュニティの支援にも動き出しています。

地域のゴミ拾いを「こども会」のみんなで一緒に

地域の人々のチャレンジを 支え、応援していきたい

課題に合わせた多様な取組みで、こどもたちが元気で幸せに成長する環境づくりをめざす『コミュニティ・4・チルドレン』。

「まだまだ取り組むべきことは多いですが、3年間もコロナ禍にあり、次の展開に向けて思うように動けていないのが実情です。でも毎月、各国の協働団体が集まってオンラインミーティングを行っていて、みんなのモチベーションは変わりません。私たちも一日も早く現地に復帰して、これまでの経験や知見を土台に、さらに活動を発展させたいと思っています」と、栗原さん。

農業支援に始まり、障がい者の自立支援、こどもの権利の保護など、活動で得たさまざまな経験や情報は、環境や風土・文化に合わせて、各国で上手く循環されていくのではないでしょうか。

年少のこどもたちに勉強を教える中学生

「海外でも日本でも、どの事業も主体はあくまでも現地の人たちであり、中心となるのはコミュニティです。支援とは、支援者の都合で事業をつくることでありませんから。

みんなが対話を繰り返し、声をあげて、自分の住むコミュニティを変えられるようになっていけばいいと思うし、その小さなチャレンジを伴走しながら応援していくことが一番大事ではないでしょうか。」

栗原さんはにこやかな笑顔で、最後にそう話してくれました。

代表理事の栗原さん(右)と副代表理事の加藤さん(左)

※3 プロジェクト紹介ページ
https://www.community4children.com/chroysnor-communitylibrary

問合せ
一般社団法人 コミュニティ・4・チルドレン
TEL:06-6622-5645 FAX:06-6621-7139
Eメール community_4_children@yahoo.co.jp
https://www.community4children.com

「保険について考えた時」そんな時には…

- こんな保険ってあるのかな？
- 今入ってる保険を見直したい
- 満期案内が届いた。
  保険料を比較してみたい

保険相談してみませんか？

保険の相談窓口

平日／9:00～17:00

来店スペースもあります。

☎06-6252-4520

E-mail　insshima@plum.ocn.ne.jp

取扱保険会社

- 損害保険会社 ＝ 8 社
- 生命保険会社 ＝ 14 社

取扱保険種類

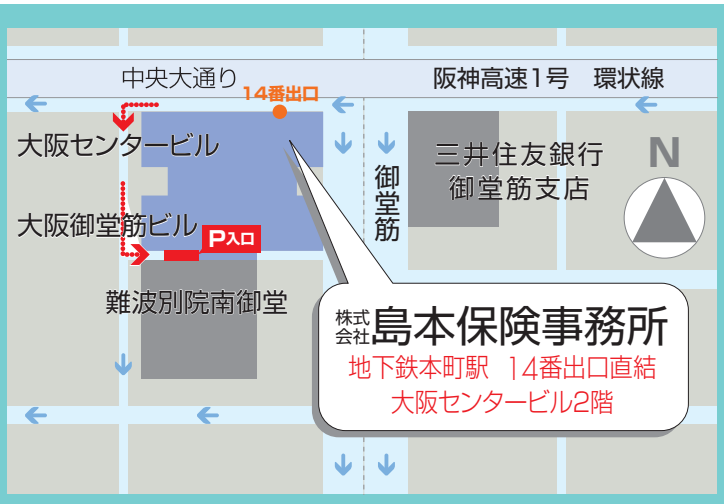
- 損害保険 ＝ 自動車・火災・傷害・賠償・旅行　等
- 生命保険 ＝ 死亡・医療・がん・年金・学資　等

〈社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 提携代理店〉

株式会社 島本保険事務所

〒541-0056
大阪市中央区久太郎町4丁目1-3
大阪センタービル2F
ホームページ https://www.shj.co.jp/

島本保険　検索　クリック



令和4年度大阪市ボランティア活動振興基金

※居場所づくり支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題の解決のために開設した居場所の、継続的な運営を目的とした事業の支援

ろう者と聴者の交流豊かな居場所

平野手話サークル「くまた」

『平野手話サークル「くまた」』（以下、『くまた』）は、ろう者と聴者との快適な居場所作りに取り組んでいます。

「平野区は、ろう者の人口が多い地域です。1979年、「平野区に手話通訳のできる人が欲しい」という地元のろう者の想いから、ろう者と聴者が一緒にサークルを立ち上げたのが始まりだと聞いています。以来、ろう者の福祉と手話技術の向上を目指して活動しています。」

そう話してくれたのは、手話学習を始めて7年目の福本典子さん（以下、福本さん）。

ろう者のアドバイスを受けながら、みんなで手話を学習

聞こえないことは見た目では分かりにくい障がいですが、例えば、電車が急に止まった時などは情報が伝わらず、とても不安な状況にあります。『くまた』では、そんな時にろう者に気付いてサポートできる人が増えてほしいと、常に見学者や新規参加者も受け入れながら勉強会を開催しています。

「手話の技術だけではなく、ろう者とお互いに人同士として分かり合えることを大切にしています。若いメンバーも増えてきているので、魅力ある活動内容を考えて、継続して参加してもらえるようにしていきたいです」と、福本さん。『くまた』の活動の中で生まれる新たな出会いや気づきが、より多くの人の支援につながることを願っています。

ときどき〝記者〟　西田　和生

問合せ

平野区ボランティア・市民活動センター
TEL:06-6795-2200　FAX:06-6795-2929

おいでよ！地域のこどもたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる〝こどもの居場所づくり〟の取組みをご紹介します。

みんなで過ごして食べる温かい居場所

山之内子ども食堂（住吉区）

住吉区にある『山之内子ども食堂』は地域に根差し、こどもたちがのびのびできる場をめざして2017年にスタートしたこども食堂です。月に一度、第1土曜日の11時から15時に地域の会館で開催されています。

11時になると参加費の100円が入ったファスナーケースを握りしめたこどもたちが続々とやってきます。最初にするのはお勉強。学校の宿題をやる子もいれば、食堂に用意されているドリルをやる子もいて、分からないところは地域のボランティアや学生ボランティアのお兄さんお姉さんに尋ねます。

みんなで食べるご飯が1番!!

12時にはお待ちかねのお昼ご飯。ボランティアが作ってくれるカレーが定番メニューだとこどもたちが口々に教えてくれました。おなかがいっぱいになるとこどもたちは、ボランティアも誘ってみんなで一緒に外のグラウンドで野球をしたりカードゲームをしたりけん玉をしたり。室内でごろごろするのも、外で走り回るのもOKです。

こどもたちが笑顔で過ごし、笑顔で帰り、また笑顔で来てくれることが、食堂のスタッフみんなのやりがいとなっています。

勉強も食事も遊びもできる場となっている『山之内子ども食堂』。これからもきっと多くのこどもたちの居場所でありつづけることでしょう。

問合せ

山之内子ども食堂
TEL:06-6694-4337
FAX:06-6694-4337

第48回 産経市民の社会福祉賞 受賞

不登校のこどもたちの『0・1歩』を大学生のチカラで応援

不登校支援ボランティア学生団体 CLASS（クラス） B（ビー）

産経新聞厚生文化事業団が主催し、地域をより良くする取組みや福祉活動を地道に続ける個人・団体を顕彰する『産経市民の社会福祉賞』。1975年の創設から第48回目を迎え、昨年11月28日にその表彰式が行われました。

(左から)『CLASS B』の入江さん、入谷さん、深瀬さん

受賞したのは、近畿2府4県の自治体などからの推薦を経て選考された3団体。その中で、大阪市ボランティア・市民活動センターが推薦した『不登校支援ボランティア学生団体 CLASS B』(以下、CLASS B)も栄えある受賞となりました。

地域の会館が支援の場に

『CLASS B』は、不登校の小中学生を対象に、オンラインの無料塾や、地域と連携したフリースクールの運営に取り組んでいます。代表を務める入谷翔さん(以下、入谷さん)は、小学校4年生から約6年間不登校を経験しました。

「こどもの人口は年々減少しているのに不登校児の数は増え続けています。彼らに必要なのは、前に踏み出すための小さな『0・1歩』。学生である自分たちにいまできることは何だろうと考え、まずはオンラインでの学習支援を始めました。」

そんな折、東淀川区の豊新地域活動協議会の人たちと出会い、将来の目標としていたフリースクール開設の話が動き出します。

「地域の使われていない会館を活用したいというお話で、不登校児の支援に共感いただき、無料でフリースクールを実施できることになったんです。」

入谷さんの呼びかけに学生たちも集まり、昨年の春、フリースクールの運営がスタートしました。

各地域での広がりを願って

フリースクールを現在利用しているのは、東淀川区で暮らす5人のこどもたち。学生メンバーと一緒に勉強しながら、思い思いの時間を過ごしています。

「いろんな人の協力で生まれたフリースクールですから、僕たちが架け橋となって、ここをこども・学生・地域がつながり合える場所にしていきたいと思っています。」

入谷さんは現在、大学4年生。卒業後も福祉の分野で働きながら、不登校児支援を続けていくと話します。

「各大学にはボランティアクラブがありますし、各地域には活用されていない場所もあると思います。今後は今の活動をモデルケースとして各地域に広げていきたい。そして、フリースクールに『遠くて行けない』『お金がかかるので行けない』という子たちも支援できる環境が整えばいいなと思っています。」

熱い想いや行動力…。大学生ならではのチカラに、今後ますます期待がふくらみます。

こども一人ひとりの支援策をみんなでミーティング

問合せ

大阪市ボランティア・市民活動センター
TEL:06-6765-4041　FAX:06-6765-5618
Eメール　ocvac@osaka-sishakyo.jp

ボランティアと区民が楽しく集い 3年ぶりに『ボランティア広場』を開催

城東区社会福祉協議会

城東区社会福祉協議会では、昨年11月13日(日)に『ボランティア広場』を開催しました。

登録ボランティア同士の交流と、区民の皆さんへのボランティア活動周知を目的としている当イベントは、コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となりました。

熱唱で来場者を魅了した音楽ゴスペルグループ『Sunny.G』

有志のボランティアが集まって企画を進めてきた今回のイベント。どんな工夫をすればコロナ禍で開催ができるのか?より多くの人に来場していただくためには?と、月に1度集まり、昨年の春から検討を重ねてきました。

当日は20のボランティアグループと個人ボランティアが出演や出展をし、雨の中200人以上の来場者がありました。歌や演奏、踊り、演劇等の舞台発表をはじめ、手作りおもちゃ製作、多肉植物の寄せ植え、塗り絵等のワークショップや防災ブース、ダブルケアパネル展示、写真と塗り絵の展示など。盛りだくさんの内容で無事に終えることができました。

舞台の司会やスタンプラリー、メッセージボードの担当をしてくれたのは中学生と高校生で構成されたボランティアグループ。制服姿のフレッシュな様子を、他のボランティアの皆さんがにこやかに見守っていました。

来場者アンケートには「温かなやさしい気持ちのあふれたイベントで来てよかった」「こんなにたくさんの活動があることを知らなかった。楽しい時間をありがとう」といった声が寄せられました。

また、参加ボランティアからは「他のグループと交流できてよかった」「地域の人たちに活動を知ってもらえてよかった」という感想が聞かれました。イベントの目的がきちんと達成でき、なによりボランティアの皆さんの素敵な笑顔を見ることができて、区社協として嬉しく思いました。

終了後、企画してきたメンバーでふりかえり会を行いました。次回はもっと多くのボランティアが参加できるように、そして来場者には活動に関心をもつことに留まらず、「ちょっとやってみよ!」と思ってもらえるような工夫を検討していこう、と前向きな意見が出ました。

今後も、ボランティアのやりたい気持ちが形になるよう支援し、様々な視点から意見をいただきながら、ボランティアの皆さんと一緒に活動を広げていきたいと考えています。

城東区社会福祉協議会　地域支援担当　古賀

保育ボランティアグループ『あ・の・ね♪』は、
こどもたちとお遊びタイムを

問合せ

城東区社会福祉協議会
TEL:06-6936-1153　FAX:06-6936-1154
https://jyotan-sky1.jimdo.com/

成年後見制度・市民後見人活動　啓発講演会

笑って合点！「成年後見制度・市民後見人活動」まるわかり！！

参加費無料

成年後見制度ができて22年がたちました。
でも「成年後見制度って聞いたことはあるけれど、
詳しくは知らないなぁ」ではありませんか？

●成年後見ってどんな人が使う制度？　●手続きはどうするの？
●費用はかかるの？　●市民後見人の活動って？

そんな疑問に落語とトークでわかりやすくお答えします。
「笑って合点！」　全国で話題の「成年後見落語」にどうぞお越しください。

落語家 桂ひな太郎 氏

日時　3月18日(土)　13:30～15:30(開場:13:00)

会場　阿倍野区民センター 小ホール (阿倍野区阿倍野筋4-19-118)

定員　250人 (どなたでもご参加いただけます)

内容

【第1部】「成年後見落語」
講師／落語家 桂 ひな太郎 氏

【第2部】「成年後見制度・市民後見人活動」まるわかりトーク
出演／大阪弁護士会 砂川 辰彦 氏(大阪市市民後見人養成・支援会議委員)
大阪市市民後見人　米澤 靖雄 氏
落語家　桂 ひな太郎 氏

申込　3月10日(金)までに
FAX、ハガキ、Eメール、
右記の申し込みフォームにて
お申込みください(先着順)
※お申込み後、参加証はお送りしませんので、当日、直接会場へお越しください。
定員を超えた場合のみご連絡いたします。

主催
◇大阪市社会福祉協議会
大阪市成年後見支援センター
◇大阪市市民後見人連絡協議会
◇大阪市阿倍野区社会福祉協議会

申込み・問合せ先

大阪市成年後見支援センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20　大阪市社会福祉研修・情報センター3階
TEL 06-4392-8282　FAX 06-4392-8900　Eメール yousei@shakyo-osaka.jp
〔ホームページ〕https://osaka-kouken.com/

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい！

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい！』と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。

ボランティア募集などの情報

イベント・講座・セミナーなどの情報

その他、助成金などの情報

OCVAC のウェブサイトから団体ホームページに簡単アクセス!

1. 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
2. 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
3. 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
4. 団体ホームページにアクセスできます!

★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④桃山学院中学校高等学校の登校時の交通誘導スタッフ募集!!

株式会社アンデレパートナーズ
https://andrew-partners.com

平日 土日祝 継

桃山学院中学校高等学校の生徒の朝の通学中の交通誘導をお願いします。横断歩道・車通りが多いポイント中心で見守り業務になります。

日　程　登校日(月～土)7:45～8:45

場　所　地下鉄昭和町駅～桃山学院中学校高等学校(阿倍野区昭和町3-1-64)
地下鉄「昭和町」駅

人数・条件　どなたでも　週1回からでもOK

申込方法　電話・Eメール

**問合せ▶ 学校法人桃山学院100%出資会社
株式会社アンデレパートナーズ　総務部**
TEL/0725-58-7553　Eメール　soumu@andrew-partners.com（担当：沼田）

①「ひきこもり・不登校サポーター」募集

非営利型一般社団法人マノアマノ
https://mano-a-mano.fun/

平日 土日祝 継

訪問や外出同行のサポーターを募集しています。皆様のご都合に合わせた日程で無理のないサポートをよろしくお願い致します。

日　程　随時問い合わせください

集合場所　ツインズウエスト305(淀川区十三元今里2-11-7)
阪急「十三」駅西口から徒歩9分

人数・条件　18歳以上　交通費あり(上限1,000円)　定員：若干名

申込方法　電話

問合せ▶ 非営利型一般社団法人マノアマノ
TEL/090-9458-1402（担当：村上）

⑤放課後児童クラブであやとりの入門指導

関西あやとり愛好会
YouTube：ayatori21

平日 継

初めてあやとりに触れる小学低学年が対象です。昔に少しでもあやとりの経験のある方なら大丈夫です。

日　程　月に1～2回程度(各小学校からの依頼によります)

場　所　各小学校内のいきいき教室(放課後児童クラブ)

人数・条件　どなたでも※こども時代に少しでもあやとりをしたことのある人

申込方法　電話

問合せ▶ 関西あやとり愛好会
TEL/090-8836-1972（担当：山下）

②日本語ボランティア募集

市岡日本語教室
http://ichioka-nihongo.org/

平日 継

市岡日本語教室では新規ボランティアのための説明会、研修会を行います。金曜日の夜に活動できる方、ぜひご参加ください。

日　程　3/24(金)新規ボランティア説明会
3/31(金)ボランティア研修会
4/7(金)日本語教室新年度開始(以後毎週金曜日開催)
各19:00～20:30

場　所　港区民センター(港区弁天2-1-5)
地下鉄・JR「弁天町」駅から徒歩7分

人数・条件　どなたでも

申込方法　電話・Eメール

問合せ▶ 市岡日本語教室　TEL:080-3846-2581
Eメール　info@ichioka-nihongo.org（担当：札葉）

⑥3区合同淀川右岸クリーン大作戦　参加者募集

淀川管内河川レンジャー
https://www.river-ranger.jp

土日祝 単

ゴミ拾いで河川美化、水辺の環境保全、ゴミを捨てないマナーアップに取り組みます。マイクロプラスチックの課題解決にもつながります。参加者大募集中

日　程　3/4(土)10:00～11:30(雨天中止)

場　所　淀 川 区：淀川右岸河川敷十三干潟付近
東淀川区：淀川右岸河川敷菅原城北大橋下付近
西淀川区：JR神戸線橋梁付近河川敷(花川地区)
※いずれも河川レンジャーののぼりが目印

人数・条件　どなたでも

申込方法　HP　締切：3/2(木)

問合せ▶ 淀川管内河川レンジャー
TEL/072-861-6801　FAX/072-841-5663
Eメール　cyuuou-kasen@nifty.com（担当：髙山）

③西成区での炊き出し活動ボランティア大募集いたします![ご協力お願い致します]

優愛ライフサポート
https://yuai-life.org/

土日祝 継

西成区で炊き出し活動を毎月1回行なっております。是非みなさまご協力よろしくお願い致します。

日　程　毎月日曜日10:00～15:00

場　所　萩之茶屋南公園(三角公園)
(西成区萩之茶屋3-7)
地下鉄「動物園前」駅から徒歩3分
JR「新今宮」駅から徒歩5分

人数・条件　どなたでも　定員：15人
炊き出しで作る食事は食べて頂けます。

申込方法　Eメール・HP

問合せ▶ 優愛ライフサポート
TEL/0120-768-290　Eメール　info@yuai-life.org（担当：沖）

単 単発的な活動　継 継続的な活動　平日 平日に開催　土日祝 土日祝に開催　食事あり　交通費支給　初心者OK

⑩ニュースを読む～ジャーナリストと振り返るこの1年～

クレオ大阪子育て館　平日
https://www.creo-osaka.or.jp/north/　単

必要な情報、正しい情報を取捨選択する力は大切です。男女共同参画の切り口で今年度のニュースをピックアップし、ジャーナリストと振り返ります。

日　程 3/18(土)10:30～12:00
場　所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄「天神橋筋六丁目」駅3番出口から連絡
JR「天満」駅から 北へ徒歩約10分
人数・条件 どなたでも　定員:40人(先着順)　参加費:無料
※3ヶ月～小学校3年生が対象の一時保育(10人まで)、手話通訳あり
いずれも要事前申込3/8締切
申込方法 電話・FAX・HP・来所

問合せ▶ クレオ大阪子育て館
〒530-0041北区天神橋6-4-20 7F
TEL/06-6354-0106　FAX/06-6354-0277
Eメール　info@osaka-kosodate.net (担当:杉浦)

⑪精神対話士による「ほっ!と相談」

一般財団法人 メンタルケア協会 大阪「ほっ!と相談」第2実行委員会　土日祝
http://www.mental-care.jp　単

精神対話士は、専門的知識と温かな対話で心を癒す心のケアの専門職です。将来の希望や心配事などについて、一歩先への解決に向けてご一緒に考えてまいります。お気軽にご相談ください。

日　程 3/4(土)13:30～17:00
3/12(日)・18(土)10:30～13:00
場　所 あべのハルカス近鉄本店 タワー館7階 街ステーション 縁活(阿倍野区阿倍野筋1-1-43)
近鉄線「大阪阿部野橋」駅 西改札口
JR「天王寺」駅 南口
人数・条件 どなたでも　参加費:無料
申込方法 電話　締切:先着順

問合せ▶ 一般財団法人 メンタルケア協会 大阪「ほっ！と相談」第2実行委員会
TEL/080-3030-1117 (担当:岡林) ※電話受付時間10:00～17:00

⑫第31回自然観察インストラクター養成講座

(公社)大阪自然環境保全協会　平日 土日祝
http://www.nature.or.jp/　継

自然を伝えよう!　身近な人へ　未来の子どもたちへ
身の回りの自然を観察し不思議を見つけ驚きを共有し、それを通して生命や自然の大切さを伝えます。

日　程 4/9(日)～12/2(土) 全28回(土日及び水曜日夜間)
土日9:30～16:00　水曜日夜間19:00～21:00
場　所 天王寺区民センター(天王寺区生玉寺町7-57) 他(野外各地)
地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅1・2号出口から北へ100m
JR「桃谷」駅から西へ1.3km
人数・条件 18歳以上　食事持参　参加費:29,000円　定員:15人
申込方法 FAX・Eメール・HP・郵便　締切:3/29(水)必着

問合せ▶ (公社)大阪自然環境保全協会
〒530-0041 北区天神橋1-9-13ハイム天神橋202号
TEL/06-6242-8720　FAX/06-6881-8103
Eメール　inst@nature.or.jp (担当:後藤)

⑦「第27回なにわ人形芝居フェスティバル」ボランティア募集

なにわ人形芝居フェスティバル運営委員会　土日祝
https://ningyoufes.jp/　単 食事あり

桜咲くお寺や神社で人形劇や模擬店を楽しめる天王寺の地域イベントです。
スタンプラリーや人形劇会場受付などお手伝いいただけるボランティアを募集!

日　程 4/2(日)8:30～16:00
場　所 一心寺シアター倶楽(天王寺区逢阪2-6-13 B1F)
(※活動場所は 天王寺区 一心寺～下寺町周辺)
JR・地下鉄「天王寺」駅から徒歩約15分
地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から徒歩約15分
人数・条件 終日活動できる人　定員あり
食事:昼食あり　図書カード(1,000円分)支給
申込方法 電話・Eメール・来所　締切:2/28(火)
※住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、連絡先をお知らせください

問合せ▶ なにわ人形芝居フェスティバル運営委員会
天王寺区逢阪2-6-13 B1F
TEL/06-6774-2877　Eメール　ningyoufes@isshinji.net (担当:雨宿・堀上)

⑧なにわ語り部の会　語り部セミナー

なにわ語り部の会　土日祝
単

大学生・短大生・専門学校生の皆さん!民話や童話を聴いてみませんか?
そして、いずれは楽しく語ってみませんか?

日　程 3/19(日)13:30～15:30
場　所 ドーンセンター 5階 セミナー室1(中央区大手前1-3-49)
京阪・地下鉄「天満橋」駅1番出口から徒歩350m
JR「大阪城北詰」駅2番出口から550m
人数・条件 大学生・短大生・専門学校生　参加費:無料　定員:40人(先着順)
申込方法 Eメール

問合せ▶ なにわ語り部の会
TEL/090-2040-0577　Eメール　tominaga3185@gmail.com (担当:富永)

⑨天体観察会「金星、月、火星を見よう」

関西で星を学ぶ会　土日祝
https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/　単

本格的な天体望遠鏡で金星、月、火星を見ます。

日　程 3/25(土)19:00～20:30
場　所 浅香中央公園　中央の広場(住吉区浅香1-6)
地下鉄「あびこ」駅4番出口から徒歩8分
JR「杉本町」駅から東へ徒歩8分
人数・条件 どなたでも　参加費:無料
申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/090-8121-6929
Eメール　k337yjunamg@gmail.com

ボランティア活動を長く続ける5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

- **Point 1** 興味や関心がある事からはじめよう!
- **Point 2** 活動は余裕をもって、無理をしない!
- **Point 3** 約束やルールは必ず守ろう!
- **Point 4** 相手や関係者の立場を尊重しよう!
- **Point 5** 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!

⑯第5回 全員集合!ボラセンまつり~コロナに勝とう!~

平野区社会福祉協議会/平野区ボランティア・市民活動センター 土日祝
http://hirano-kushakyo.or.jp

ステージパフォーマンス、展示、ワークショップ、おもちゃ修理など盛りだくさんのイベントです。みなさんお気軽にご参加ください。

日　程 3/12(日)13:30～16:30(開場13:00)

場　所 コミュニティプラザ平野(平野区民センター)
(平野区長吉出戸5-3-58)
地下鉄「出戸」駅4番出口から徒歩5分
市バス「出戸バスターミナル」下車 徒歩5分

人数・条件 どなたでも　参加費:無料

申込方法 申込不要

問合せ▶ 平野区社会福祉協議会/平野区ボランティア・市民活動センター
TEL/06-6795-2200　FAX/06-6795-2929
Eメール　nico-nico.c@3sweb.ne.jp (担当:桝本・菱井・清永)

⑰在日コリアン高齢者生活支援ボランティア養成講座「モヨラ」

主催:生野区在日韓国朝鮮人・多文化共生ネットワーク「じゅうみんといろ」/ボランティアグループ「モヨラ」 土日祝

在日コリアンの歴史や文化・生活習慣などを知って在日コリアン高齢者へのボランティアを実践してみませんか?
黄 光男さん講演「差別に負けない～ハンセン病家族、外国籍公務員第1号としての人生～」ほか

日　程 3/18(土)13:00～16:30

場　所 生野区社会福祉協議会 2階 多目的室(生野区勝山北3-13-20)
JR「桃谷」駅から徒歩15分
大阪市バス「生野区役所」から徒歩2分

人数・条件 どなたでも　定員:50人(先着順)　参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール　締切:3/15(水)

問合せ▶ TEL/090-6820-5805　FAX/06-6741-0657
Eメール　maumderobu@helen.ocn.ne.jp (担当:久保)

⑱ノエビアグリーン財団助成事業

公益財団法人ノエビアグリーン財団
https://www.noevirgreen.or.jp/grants/

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な青少年の育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。

助成対象 **[団体]**児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体
[個人]18歳以下で、将来、世界大会やオリンピック、パラリンピック出場等を目指すアマチュアスポーツ選手

助成金額 1件あたり上限300万円
※年間の助成件数、各々の金額は選考委員会にて決定。

応募方法 「電子申請サポートシステム」から申込み　※HP参照

応募締切 2/28(火)正午12:00

問合せ▶ 公益財団法人ノエビアグリーン財団
TEL/03-5568-0305　Eメール　info@noevirgreen.or.jp

⑬吃音抑制グループ「ゆっくり会」

吃音抑制グループ「ゆっくり会」 土日祝

吃音で悩んでる方へ。吃音を抑制しながら話す訓練で、『話す喜びと話せる喜び』を体験してみませんか。吃音を抑制させる流暢性形成法の訓練です。

日　程 2/26(日)13:30～16:30

場　所 福島区民センター(福島区吉野3-17-23)
阪神「野田」駅

人数・条件 吃音で悩んでる方　定員:10人(先着順)
参加費:500円(会場費と資料代含む)

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ 吃音抑制グループ「ゆっくり会」
TEL/090-9884-6144　Eメール　yukkuri39o0o@gmail.com (担当:阿部)

⑭発達に課題のある子の支援講座 伊丹昌一先生講演会『障がいのある子の自己決定』~誘導にならない支援~

つぼみの会／天王寺区社会福祉協議会 土日祝
http://yuuai.org/

障がいがあるがゆえに言えない葛藤や、助けてと言えない心理から我慢をさせてはいませんか。障がい当事者の自己決定権について学びましょう。

日　程 3/11(土)14:00～17:00
第1部:講演会　第2部:事前質問に対する回答

場　所 天王寺区役所3階 講堂(天王寺区真法院町20-33)
地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅 1号出口から徒歩8分

人数・条件 どなたでも　定員:100人(先着順)　参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール　※定員になり次第締切

問合せ▶ つぼみの会／天王寺区社会福祉協議会
TEL/06-6774-3377　FAX/06-6774-3399
Eメール　b5430053@yahoo.co.jp (担当:荒野)

⑮点訳ボランティア養成講座

大阪府鍼灸マッサージ師会 平日
https://www.osmk.osaka.jp

6つの点の組み合わせだけで拡がる点字の世界を体験してみませんか!!初心者向けの楽しい講座です。少しでも関心のある方、大歓迎です。

日　程 4/5(水)～6/14(水)毎水曜日(全10回)14:00～16:00
※但し5/3(水・祝)を除く

場　所 大阪府鍼灸マッサージ会館(阿倍野区昭和町2-10-5)

人数・条件 大阪府にお住まいの方 参加費:無料(テキスト代1,540円必要) 定員:20人

申込方法 電話・FAX・郵便・来所　締切:3/24(金)

問合せ▶ 大阪府鍼灸マッサージ師会
〒545-0011阿倍野区 昭和町2-10-5　大阪府鍼灸マッサージ会館
TEL/06-3324-3332　FAX/06-6624-3337 (担当:小川)

大切なお知らせ!!

※情報マーケットの掲載のイベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急きょ事前の連絡なく中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリレースタイルでお届けします。

多様な性のあり方が当たり前に尊重される社会の実現を

NPO法人QWRC(Queer and Women's Resource Center)

『NPO法人QWRC（くぉーく）』は2003年4月にオープンした、LGBTなどの多様な性を生きる人やその周辺にいる人と、女性のためのリソースセンターです。フェミニズムの視点を重視しながら、多様な性のあり方が当たり前に尊重される社会の実現を目指して活動しています。

具体的には、4つの事業を行っています。居場所を作り、相談を受け、時には他団体のサポートをし、LGBTなど多様な性を生きている人たちのニーズを講演や啓発物の作成を通して社会に発信しています。

居場所ではLGBT当事者はもちろん、そうかもと思っている人や、アライと呼ばれるようなLGBTのことに関心がある人など、色々な人が来ることのできる場や、個別のニーズに特化した場を月に数回開催しています。

相談を受ける機能では、行政委託のLGBTに関わる電話相談の実施や、コロナ禍で顕在化した電話では相談ができない状況のLGBTのためにLINEを使っての相談、カウンセリングルームの運営、計画相談支援事業所「にじむすび」を行っています。

関心のある方はぜひ、ホームページを見てみてください。

https://qwrc.jimdofree.com/

さまざまなカラー(多様性、個性)あふれる社会をめざして

おくばっくん

情報求む！

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしています。どしどしお寄せください。

申し込み方法　大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/

申込先・問合せ先　大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10　TEL/06-6765-4041　FAX/06-6765-5618 (担当：泉・竹澤)
※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例：2023年3月15日発行号（4月号）に掲載希望の場合は2023年2月末まで)

おことわり
※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。
P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。
ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。
※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

縦410mm×横380mm

学生ボランティア活動 連載リレーコラム No.28

それゆけ！がんばれ！

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

エンジョイ！ボランティア

生徒たちと楽しい時間が過ごせる『みんなで学ぶ教室』

僕は教員を目指している学生です。大学の実習先が『みんなで学ぶ教室』であり、実習を終えて今はボランティアとして正式に活動しています。もともとボランティア活動にあまり興味はなかったのですが、いい機会だと思って始めました。

『みんなで学ぶ教室』では、生徒が自分の意思で行きたい日に通う方法を取っています。そのせいもあってか、来てくれる生徒一人ひとりの勉強に対する姿勢はとても素晴らしいと思っています。生徒は僕の話を真剣に聞いてくれて、とてもやりやすいですし、やりがいを感じます。また勉強の合間にお喋りしたりするのもとても楽しいです。

僕は、ボランティアというものは誰かのために行う活動だと認識していました。しかし『みんなで学ぶ教室』で活動しているうちに、自分が教員になった時のいい経験にもなると思いました。また、自分のためにも活動している面もありますが、何よりも生徒と関わって勉強することがとても楽しいと感じています。生徒と僕自身が成長できるよう全力で楽しみながらこれからもやっていきます

大阪教育大学
数理情報コース
稲井（いない） 祐介（ゆうすけ）

プロフィール

所属団体：堂ヶ芝学習館 みんなで学ぶ教室
趣　　味：ソフトテニス、携帯ゲーム
学　　年：3年生

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対　象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内　容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041　FAX.06-6765-5618 (担当：泉・竹澤)

エントリーはこちらから▶

アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎号5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、
本誌入手先、読者歴をお書きください。
②下記の１～６の質問の回答をお書きください。

1．あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし　イ １年未満　ウ １～４年　エ ５～９年　オ 10 年以上
2．活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3．これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある　イ なし　ウ まだ迷っている（その理由も教えてください）
4．今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5．本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6．その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。
https://ws.formzu.net/dist/S38892286/

（宛先）
大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート　情報誌ＣＯＭＶＯ274号係」まで
（住所は下記参照）

※締め切り　2023（令和5）年3月10日（消印有効）
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさえていただきます。
※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス

大阪府共同募金会・ブックオフコーポレーションと3者で連携協定を締結

当金庫は昨年11月、大阪府共同募金会・ブックオフコーポレーションと「地域社会における『SDGsの普及推進』と『地域福祉の推進』に係る連携と協力に関する協定」を締結しました。

本協定に基づく取り組みとして、3者が連携して行う「古書等回収による募金活動」を開始します。当金庫の営業店に回収ボックスを設置し、来店客や役職員等が読み終わった古書等を入れ、ブックオフコーポレーションが回収・査定し、その買取代金が大阪府共同募金会に振り込まれ、大阪府内の福祉の向上に役立てられます。

回収ボックスに本を提供する髙橋理事長（写真中央、連携協定の締結式にて）

ボランティア・市民活動情報誌「COMVO（コンボ）」へ広告募集！

赤枠が本文 1/5 ページサイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO（コンボ）。
大阪のボランティア・市民活動情報が満載！市民が誰でも気軽で手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数
B5判　16頁（フルカラー）年10回発行
■広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前（スペースに限りがありますので、お早めに申込ください）
■申込方法
下記まで問合せください

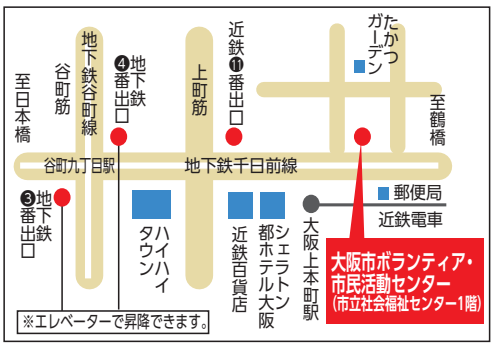
広告料金（税込）

掲載箇所スペース	料金（税込）	版下サイズ（mm）	
表4　1ページ	234,000円	240×170	
表4　1/2ページ	127,500円	117×170	
本文　1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文　1/2ページ	85,000円	117×170	
本文　1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿（データ）で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会　ふれあいネットワーク
大阪市ボランティア・市民活動センター
Osaka City Voluntary Action Center
所在地／〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F
TEL/ 06-6765-4041　FAX/ 06-6765-5618
E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/
●開館時間：午前9時～午後7時（月～金）午前9時～午後5時30分（土）
●休館日：日・祝・国民の休日・年末年始　●発行日：2023年2月15日（8月と1月を除く毎月15日発行）
●発行部数：40,000部　●制作協力：商工印刷株式会社　●点訳協力：NPO法人ぽこ・あ・ぽこ
掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。
●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能！ https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/

阪神電車（梅田駅・野田駅）、大阪市サービスカウンター（梅田・難波・天王寺）、各区在宅サービスセンター（区社協）、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など
※OCVAC（大阪市ボランティア・市民活動センター）では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter http://twitter.com/ocvic1998　Facebookページ https://www.facebook.com/ocvac

森と人間、
どちらも元気にする方法が
見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。

インドネシア バリヤン第二小学校

対話するエコ。
立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名　称	所　在　地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668